

別表第4

地球温暖化対策取組事例

(1) エネルギーの有効利用や新エネルギーの活用

取組事例
自然エネルギーの活用（日射の室内導入、通風の活用等）を積極的に実施している。
太陽光発電設備により太陽エネルギーを電気として利用している。
ソーラー給湯システム等により太陽エネルギーを給湯、暖房に利用している。
屋上緑化や壁面緑化により屋根等からの冷房負荷を低減している。
二重サッシや複層ガラスの設置等により建物の断熱性能を向上させている。
熱線吸収ガラス、熱線反射ガラスの採用により日射を遮断している。
給湯設備において、断熱等により省エネルギーを進めている。
都市ガス、灯油等の環境負荷の少ない燃料を優先的に使用している。
空調の適温化（冷房28度程度、暖房20度程度）を確実に実施している。
空調を必要な区域や時間に限定して行っている。
省エネルギー型空調設備を積極的に導入している。
照明、空調、冷却設備の保守点検や整備を定期的に行っている。
室内照明には太陽光を積極的に活用している。
高効率蛍光灯、インバーター照明、センサー設置等省エネルギー型照明器具を使用している。
照明の適正化（照度、点灯時間＝スイッチの適正管理、部分消灯等）に努めている。
パソコン、コピー機等OA機器は高効率エネルギー型を導入している。
パソコン、コピー機等OA機器は使用しない時は電源を切っている。
エレベーターの省エネシステム（運転の高度制御等）を導入している。
エレベーターの適正使用（階段の利用、部分停止等）を実施している。
風力、水力等の自然エネルギーを利用している。
ボイラーやごみ焼却熱等の廃熱を利用している。
地域冷暖房システムや地域熱供給システムを利用している。
コージェネレーション（発電時の廃熱を利用すること）システムを導入している。
ヒートポンプを導入している。
インバーター等によるモーターの回転制御を実施している。
電力不要時の負荷遮断、変圧器の遮断を実施している。
ボイラー等において、低空気比運転等の熱管理を実施している。

(2) 製品の生産

取組事例
製品の生産時や使用過程でのエネルギーの使用量が少なくすむような製品開発を指向している。
温室効果ガスの発生量の少ない燃料を採用している。
製造工程の見直しや改善、新設備の導入によって、省エネルギー化を図っている。
製造工程で発生する排熱や未利用エネルギーを有効利用する装置の導入によって、省エネルギー化を図っている。

(3) 自動車の使用、輸送等

取組事例
通勤や営業活動に可能な限り公共交通機関や自転車を活用し、自動車の使用を控えている。
自動車購入時に排出ガス、燃費等を考慮している。
最新の排ガス規制に適合した車や省エネ基準を達成した車への代替に努めている。
電気自動車、圧縮天然ガス自動車等の低公害車の利用に取り組んでいる。
運転方法の配慮（急発進急加速や空ふかしの排除、アイドリングストップ、不要な荷物を積んだままにしない等）に努めている。
排ガスの低減や燃費の向上を図るため適正な車両整備を実施している。
鉄道や海運を積極的に利用している。
最大積載量に見合った輸送単位の設定を実施している。
共同輸配送や帰り荷の確保に努めている。
発注や輸送の計画化、平準化に努めている。

(4) 温室効果ガスを含んだ物質の購入、保管、使用、輸送、排出

取組事例
フロン等使用量の削減、全廃を図っている。
製造工程において、フロンを代替物質に転換している。
製造工程において、フロン等の使用量や漏出量を把握し、対策を行っている。
フロン等を使用していない製品を選ぶよう配慮している。
フロン等の回収や適正処理に取り組んでいる。
フロン等を使用している製品を廃棄する際の回収に取り組んでいる。

(5) 容器、包装、梱包材の使用

取組状況
購入時にはできるだけ容器、包装、袋等の使用を断るよう努めている。
包装梱包（段ボール等）の削減や再使用に取り組んでいる。
簡易包装の推進や多重包装の見直しに努めている。
量売りやバラ売りの推進により包装紙、容器、食品トレイ、買い物袋等の削減に努めている。
詰め替え式の容器や製品の販売に努めている。
リターナブル容器入りの製品の販売促進に努めている。
通い箱（繰り返し使用する梱包材）を利用している。

(6) 廃棄物の排出削減

取組事例
再使用又はリサイクルが容易な製品を優先的に使用、購入するよう努めている。
使い捨て製品（紙コップ、弁当容器等）の使用、購入の抑制に努めている。
リターナブル容器に入った製品を優先的に使用、購入するよう努めている。
廃食用油の燃料化に協力又は石鹼等への再利用を行っている。
包装梱包等のリサイクルに取り組んでいる。

(7) 水の使用の合理化

取組事例
雨水貯留タンクの設置等により、雨水の活用に努めている。
浸透弁の設置等、雨水を地下浸透させるための工夫に努めている。
使用済の水の再利用（循環使用）に努めている。
不必要な地下水汲み上げの禁止又は削減を実施している。
蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を設置している。
水道配管からの漏洩を定期的に点検している。
蛇口付近に「節水」等の標識を貼り節水意識の向上に努めている。

(8) 商品（サービス）の開発、設計、販売、管理

取組事例
使用時のエネルギーの使用量が少なくてすむような商品の開発、その販売に取り組んでいる。
商品のうち環境にやさしい商品を定め、その販売に積極的に取り組んでいる。
環境にやさしい商品の販売比率を高めるため計画を立てて取り組んでいる。
消費者に環境保全型商品に関する情報を提供している。

(9) グリーン購入（調達）

取組事例
グリーン購入（調達）方針を策定し、グリーン購入（調達）に取り組んでいる。
資材購入に当たり、資源の採取時、製造段階、廃棄時のエネルギー消費、環境負荷の少ないものを選択している。
環境マネジメントシステム（ISO14001、K E S等）の導入を調達条件とするなど、資材購入先に対し、環境配慮を要請している。
環境に配慮したエコ商品の購入に努めている。
電気の調達先として、自然エネルギーによる発電の割合が多い電気事業者を優先している。

(10) 環境管理

環境マネジメントシステム（ISO14001、K E S等）を導入（全社、部門、工場）し、地球温暖化対策に取り組んでいる。
環境マネジメントシステムの専任の担当者を設置している。
環境報告書を作成し、事業活動に係る地球温暖化対策の実施状況の公表に努めている。
地球温暖化対策に関する社内研修を定期的実施している。